

区分・種別	県指定史跡		
名称	ふなやまこふんぐん 船山古墳群		
所在地	西条市小松町新屋敷		
所有者	三嶋神社	管理団体	
指定年月日	昭和37年11月1日		
解説	<p>四国八十八か所61番札所の^{こうおんじ}香園寺と国道11号線にはさまれた場所に、東西約300m、南北約100mの独立丘陵がある。その形が船の形に似ていることから船山と呼ばれている。</p> <p>この丘陵には三嶋神社と20基の古墳があったが、原形をとどめているものは10基ほどである。残りのものは指定前に崩れたまま現在におよんでいる。</p> <p>社殿は、嘉永7（1854）年に新宮より現在地に移され、その造成時に^{すえき}須恵器、^{じかん}耳環、^{まがたま}勾玉が出土したので、それらを一括して神社裏に再埋納して花陵霊社としてまつている。崩れていた古墳は横穴式石室であるが、現存する古墳とは主軸方向が違い、やや古いとされている。また、東部と西部の古墳群にも主軸方向の違いがみられるなど、古墳の築造方法などを知る上で貴重な遺跡とされている。</p>		

